

平成 29 年 度

南伊豆町水道事業会計補正予算（第 1 号）

賀茂郡南伊豆町

議第101号

平成29年度 南伊豆町水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 平成29年度南伊豆町水道事業会計の補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出）

第2条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		支	出	
（科目）		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
第1款	水道事業費用	327,156 千円	△ 2,297 千円	324,859 千円
第1項	営業費用	303,043 千円	△ 2,438 千円	300,605 千円
第2項	営業外費用	23,113 千円	141 千円	23,254 千円

（資本的収入及び支出）

第3条 予算第4条に定めた資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

		支	出	
（科目）		（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
第1款	資本的支出	290,535 千円	7,018 千円	297,553 千円
第1項	建設改良費	216,145 千円	7,018 千円	223,163 千円

(議会の議決を経なければ、流用することのできない経費)

第4条 予算第8条に定めた議会の議決を経なければ、流用することのできない経費の予定額を次のとおり補正する。

(科目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
1 職員給与費	17,523 千円	△ 2,493 千円	15,030 千円

平成 29 年 12 月 5 日 提出

賀茂郡南伊豆町長 岡部 克仁

平成29年度 南伊豆町水道事業会計補正予算実施計画

収益的収入及び支出
支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 水道事業費用			(千円)	(千円)	(千円)	
			327,156	△ 2,297	324,859	
	1 営業費用		303,043	△ 2,438	300,605	
		3 総係費	106,383	△ 2,438	103,945	事業経営全般に関する経費
	2 営業外費用		23,113	141	23,254	
		1 支払利息及び企業債取扱諸費	19,761	141	19,902	企業債利息及び一時借入金利息

資本的収入及び支出
支 出

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1 資本的支出			(千円) 290,535	(千円) 7,018	(千円) 297,553	
	1 建設改良費		216,145	7,018	223,163	
		1 水道施設改良費	216,145	7,018	223,163	水道施設建設改良に要する経費

平成29年度予定キャッシュフロー計算書

上水道事業会計 間接法 通期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）
（単位：円）

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	△9,130
減価償却費	140,142
貸倒引当金の増減額（△は減少）	185
賞与等引当金の増減額（△は減少）	△94
長期前受金戻入額	△34,142
受取利息及び受取配当金	△3
支払利息	19,902
有形固定資産除却費	2,050
未収金の増減額（△は増加）	15,461
未払金の増減額（△は減少）	△70,543
たな卸資産の増減額（△は増加）	△37
預り金の増減額（△は減少）	0
小計	63,791
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△19,902
業務活動によるキャッシュ・フロー	43,892

2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△216,535
有形固定資産の売却による収入	0
補助金等による収入	35,600
負担金等による収入	8,970
一般会計出資金による収入	1,571
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△170,394</u>
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	77,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	<u>△64,390</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>13,210</u>
資金増加額（又は減少額）	△113,292
資金期首残高	<u>232,566</u>
資金期末残高	<u><u>119,274</u></u>

給与費明細書

1 総括

区分	職員数		給与費					法定福利費 (千円)	合計 (千円)	
	特別職 (人)	一般職 (人)	報酬 (千円)	給料 (千円)	賃金 (千円)	手当 (千円)	計 (千円)			
補正後	損益勘定支弁職員	0	2	0	3,590	0	1,213	4,803	1,384	6,187
	資本勘定支弁職員	0	1	0	4,374	0	2,323	6,697	2,146	8,843
	合計	0	3	0	7,964	0	3,536	11,500	3,530	15,030
補正前	損益勘定支弁職員	0	2	0	4,414	0	2,277	6,691	2,007	8,698
	資本勘定支弁職員	0	1	0	4,374	0	2,305	6,679	2,146	8,825
	合計	0	3	0	8,788	0	4,582	13,370	4,153	17,523
比較	損益勘定支弁職員	0	0	0	△824	0	△1,064	△1,888	△623	△2,511
	資本勘定支弁職員	0	0	0	0	0	18	18	0	18
	合計	0	0	0	△824	0	△1,046	△1,870	△623	△2,493

手当等の内訳	区分	扶養	住居	通勤	管理職	時間外	宿日直	管理職特別	児童	期末勤勉
		(千円)	(千円)	(千円)						
	補正後	276	264	263	132	440	0	0	0	2,161
	補正前	576	0	382	132	320	0	0	300	2,872
	比較	△300	264	△119	0	120	0	0	△300	△711

平成29年度 南伊豆町水道事業会計予定損益計算書

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

(単位：千円)

1	営業収益		
	(1) 給水収益	221,750	
	(2) 受託工事収益	0	
	(3) その他営業収益	<u>6,448</u>	228,198
2	営業費用		
	(1) 原水浄水送水配水給水費	50,225	
	(2) 受託工事費	386	
	(3) 総係費	96,733	
	(4) 簡易水道等費	0	
	(5) 減価償却費	140,142	
	(6) 資産減耗費	2,055	
	(7) その他営業費用	<u>60</u>	<u>289,601</u>
	営業利益		61,403

3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	3		
	(2) 雑収益	307		
	(3) 他会計補助金	41,997		
	(4) 長期前受金戻入	<u>34,142</u>	76,449	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	19,902		
	(2) 雑支出	<u>3,348</u>	23,250	53,199
5	予備費			
	(1) 予備費	<u>926</u>	<u>926</u>	<u>△926</u>
	経常利益			△9,130
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>0</u>
	当年度純利益			△9,130
	前年度繰越利益剰余金			△4,381
	未処分利益剰余金変動額			<u>249,339</u>
	当年度未処分利益剰余金			235,828

平成29年度 南伊豆町水道事業会計予定貸借対照表
(平成30年3月31日)

(単位：千円)

		資 産 の 部	
1	固 定 資 産		
(1)	有 形 固 定 資 産		
	ア 土 地		88,364
	イ 建 物	181,105	
	建物減価償却累計額	<u>△ 99,288</u>	81,817
	ウ 構 築 物	4,629,489	
	構築物減価償却累計額	<u>△ 1,746,900</u>	2,882,589
	エ 機 械 及 び 装 置	1,388,748	
	機械及び装置 減価償却累計額	<u>△ 981,419</u>	407,329
	オ 車 輜 運 搬 具	1,162	
	車輜運搬具 減価償却累計額	<u>△ 1,104</u>	58
	カ 工 具 器 具 備 品	12,557	
	工具器具備品 減価償却累計額	<u>△ 12,335</u>	222
	キ 建 設 仮 勘 定		<u>83,192</u>
	有形固定資産合計		3,543,571

(2)	無形固定資産			
	ア 水 利 権	3,295		
	イ 電 話 加 入 権	473		
	ウ その他無形固定資産	<u>48</u>		
	無形固定資産合計		<u>3,816</u>	
	固定資産合計			3,547,387
2	流動資産			
(1)	現金預金		119,274	
(2)	未収金			
	ア 上水道給水未収金	19,786		
	イ 上水道貸倒引当金	△ 430		
	ウ 簡易水道給水未収金	37		
	エ 簡易水道貸倒引当金	△ 16		
	オ 未収消費税還付金	<u>6,359</u>	25,736	
(3)	貯蔵品		<u>200</u>	
	流動資産合計			<u>145,210</u>
	資産合計			<u><u>3,692,597</u></u>

負 債 の 部

3	固 定 負 債		
	(1) 企 業 債	1,087,569	
	固定負債合計		1,087,569
4	流 動 負 債		
	(1) 企 業 債	66,469	
	(2) 未 払 金	30,919	
	(3) 引 当 金	984	
	(4) その他流動負債	468	
	流動負債合計		98,840
5	繰 延 収 益		
	(1) 長 期 前 受 金		
	ア 国 県 補 助 金	606,802	
	国 県 補 助 金		
	収益化累計額	\triangle 217,116	389,686
	イ 受 贈 財 産 評 価 額	254,720	
	受 贈 財 産 評 価 額		
	収益化累計額	\triangle 158,224	96,496
	ウ 工 事 負 担 金	628,998	
	工 事 負 担 金		
	収益化累計額	\triangle 316,178	312,820
	エ 他 会 計 補 助 金	217,815	
	他 会 計 補 助 金		
	収益化累計額	\triangle 37,772	180,043
	長期前受金合計		979,045
	負債合計		2,165,454

資 本 の 部

6	資 本 金			
	(1) 自 己 資 本 金		<u>1,280,352</u>	
	資 本 金 合 計			1,280,352
7	剰 余 金			
	(1) 資 本 剰 余 金			
	ア 受 贈 財 産 評 価 額	3,407		
	イ その他資本剰余金	<u>7,556</u>		
	資 本 剰 余 金 合 計		10,963	
	(2) 利 益 剰 余 金			
	ア 当 年 度 未 処 分 利 益			
	剰 余 金	<u>235,828</u>		
	利 益 剰 余 金 合 計		<u>235,828</u>	
	剰 余 金 合 計			<u>246,791</u>
	資 本 合 計			<u>1,527,143</u>
	負 債 資 本 合 計			<u><u>3,692,597</u></u>

重要な会計方針及び財務諸表注記

1 重要な会計方針に係る事項に関する注記

平成26年度より、改定後の地方公営企業会計基準を適用して、財務諸表等を作成している。

(1) 資産の評価基準及び評価方法

ア たな卸資産(貯蔵品)

先入先出法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

ア 有形固定資産

定額法

主な耐用年数

建物 10年 ～ 50年

構築物 10年 ～ 60年

機械及び装置 8年 ～ 20年

車両運搬具 3年 ～ 5年

器具工具及び備品 3年 ～ 15年

イ 無形固定資産

定額法

主な耐用年数

水利権 20年

ソフトウェア 5年

(3) 引当金の計上方法

ア 退職給付引当金

退職手当組合に加入しており、当該組合に負担金を拠出し積立金の不足等に応じて発生する追加的な費用は、一般会計において措置するため計上しない。

イ 賞与引当金

職員の期末手当及び勤勉手当の支給に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

ウ 法定福利費引当金

職員の期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費の支出に備えるため、当年度末における支出見込額に基づき、当年度の負担に属する額を計上している。

エ 貸倒引当金

債権の不能欠損による損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

(4) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税抜方式によっている。

2 予定キャッシュ・フロー計算書等に関する注記

間接法による。

(1) 重要な非資金取引

ア 現物出資の受入による資産の取得

該当事項なし

イ 資産の交換

該当事項なし

ウ ファイナンス・リース取引による資産の取得

該当事項なし

エ P F I 契約等による資産の取得

該当事項なし

3 予定貸借対照表等に関する注記

(1) 資産が担保に提供されている場合

該当事項無し

- (2) 企業債の償還に要する資金の全部または一部を、一般会計または他の特別会計において負担している場合
貸借対照表に計上されている企業債（当該年度末日の翌日から起算して1年以内に償還のものを含む。）のうち、
一般会計が負担すると見込まれる額は1,571,245円である。
- (3) 保証債務、重要な係争事件に係る阻害賠償義務その他これらに準ずる債務
該当事項無し

4 セグメント情報に関する注記

報告セグメントが1つのため、記載を省略している。

5 減損損失に関する注記

(1) 減損の兆候について

ア 固定資産のグループ化の方法

水道事業に使用している固定資産については、すべての固定資産が一体となってキャッシュ・フローを生成していることから、全体を1つの固定資産グループとしている。

イ 認められた減損の兆候の概要

減損の兆候は認められなかった。

ウ 減損損失を認識するに至らなかった理由

該当事項なし

6 リース契約により使用する固定資産に関する注記

該当事項なし

7 重要な後発事象に関する注記

該当事項なし

8 その他の注記

(1) 引当金の取崩しについて

ア 退職給付引当金
該当事項なし

イ 賞与引当金

当年度において、期末手当及び勤勉手当を支給するため、賞与引当金913,000円を取り崩した。

ウ 法定福利費引当金

当年度において、期末手当及び勤勉手当に係る法定福利費を支出するため、法定福利引当金165,000円を取り崩した。

エ 貸倒引当金

当年度において、不能欠損による損失を計上するため、貸倒引当金141,000円を取り崩す予定である。

(2) みなし償却制度の廃止に伴う経過について

平成26年3月31日において、償却資産の取得又は改良に充てるための補助金等で現に資本剰余金として整理している額のうち、該当資産との対応関係の把握が不可能であったものについては、現存する資産(補助金等が充当されていないことが明らかな資産を除く)を対象とし、補助金充当率を用いた按分により整理している。

参 考 資 料

平成 29 年度
南伊豆町水道事業会計補正予算（第 1 号）内訳書

資本的収入及び支出
支 出

款・項	目	既決予定額	補正予定額	計	明 細	
					節	金額 附 記
1 資本的支出		(千円) 290,535	(千円) 7,018	(千円) 297,553		(千円)
1 建設改良費		216,145	7,018	223,163		
	1 水道施設改良費	216,145	7,018	223,163		
					2 手当等	18 扶養手当
					50 工事請負費	7,000 構築物工事請負費